

第46号 平成27年2月1日発行 (偶数月発行/年6回)

# 七色花

【発行所】  
中国・四国中国帰国者支援・交流センター  
社会福祉法人 広島県社会福祉協議会  
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2  
TEL 082-250-0210  
FAX 082-254-2464  
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

## 島根県社会見学会

11月29日(土)島根県の帰国者を対象に社会見学会を開催しました。広島県まで足を伸ばし、ガラスの里でマドラー製作を体験した後、安佐動物公園の見学をしました。同じ島根県内にいながら各地域にいる帰国者たち。年に一度の再会を喜び合い、バスの中でも楽しそうに歓談されていました。



## 香川県相談説明会・健康増進交流会



12月13日(土)香川県の帰国者を対象に相談説明会と健康増進交流会を開催しました。健康講座では、薬の飲み方や医師への説明の仕方など、参加者から質問があり、健康に対する関心の高さが伺えました。スポーツ吹矢大会は全員初心者でしたが、気功の呼吸法に基づいて行われ、幅広い年代で楽しめる競技とわかり、親しみも持てたようです。普段は喜怒哀楽を表情に出さない人が的に矢が当たると大喜びしている様子はとても印象的でした。

## ボランティア研修会

12月17日(水)広島市立白島小学校の4年生を対象に帰国者1世が中国結びという手芸を指導しました。お昼は給食をいただき、休み時間に校庭で遊ぶ子供たちや掃除をする様子も見学することができました。日本の小学校に通った経験のない帰国者1世たちにとっては興味深い体験となったようです。



## 広島県健康増進交流会



12月22日(月)広島県の帰国者を対象に当センターにてレクリエーション大会(ミニ運動会)を開催しました。3グループ対抗で、玉入れや風船割りリレーなどで楽しみながら運動することができました。また、借り物競争や伝言ゲームで日本語の学習につなげました。帰国者たちが日頃職員たちに見せる様子とは違って、夢中で競技に取り組む姿を垣間見ることができ、職員たちからも思わず笑みがこぼれていました。

## 岡山県相談説明会・健康増進交流会

1月16日(金)岡山県の帰国者を対象に相談説明会と健康増進交流会を開催しました。健康講座は、岡山市の保健師を講師に招き、日々の生活の中で気軽に取組める介護予防体操を紹介してもらい、継続が大事だとアドバイスを受けました。参加者からは「簡単で覚えやすい」と好評でした。健康増進交流会はスポーツ吹矢を行いました。みなさん初めてでしたが、帰国者も支援者も楽しく運動できました。



# 中四国地域の活動報告

①NPO法人虹橋の会主催「2015年新春交流・発表会」  
1月18日(日)NPO法人虹橋の会主催の新春交流・発表会が開催され、当センターの職員も出席しました。虹橋の会は活動が認められ、ユネスコ協会から奨励賞を受賞したそうです。発表会を拝見し、長年の努力が少しずつ実り、会員も増え、活動内容も充実してきたことが伺えました。



②NPO法人中国帰国者・広島友好会主催「中国帰国者介護予防教室」  
1月18日(日)NPO法人中国帰国者・広島友好会主催の介護予防教室が開催され、当センターの職員も参加しました。講師は帰国者の関係者として日本に来日し、介護福祉士と介護支援専門員の資格を取得した60代の人でした。座ったままでできるストレッチ運動やデイサービスで実施されているようなレクリエーションで楽しく運動しました。講師は「社会との接点も生まれるので、このような会に積極的に参加してほしい」と話していました。



## 投稿

島根県にお住いの松木明子さんからお手紙をいただきました。

### 追憶

私は昭和16年、9歳の時に両親と家族の7人で満州に渡りました。開拓団生活の4年目で終戦を迎え、父は行方不明に、母と姉妹は奉天で病死しました。その後、私は中国人の養女になりました。その家は生活が貧しく、私は毎日石炭を拾って家の燃料にしていました。また、昼間は農園の草刈りをして稼ぎ、夜は夜間学校で勉強をしました。その後、内戦が終わり、中華人民共和国が成立して、国民生活も安定しました。私は28歳で勤務を始め、30歳で結婚し、3人の子供を儲けました。1972年の日中国交正常化により、私は1980年5月、40年ぶりに故郷に一時帰国をしました。その時、私は9歳の記憶が蘇り、懐かしさでいっぱいになりました。親戚の叔父、叔母がまだ健在だった事が何よりでした。故郷の同級生の皆さんが歓迎会を開いてくれたり、同窓会をしてくれたりと、楽しい一年間を過ごさせていただきました。それから10年後、家族全員で日本に永住帰国をして、今年で24年目です。私たち夫婦は地元の老人クラブでお世話になり、楽しい毎日を送っています。子供たちも独立して頑張っています。私たちは夫婦共に健康で今が一番幸せです。



松木明子さん

## 2月・3月の予定

2月1日	健康増進交流会	〔広島県広島市〕	2月18日	就職講座	〔広島県〕
2月3日	異文化交流会	〔広島県廿日市市〕	2月2日	学習発表会	〔広島県〕

## 投稿募集

あなたも「七色花」に記事を載せてみませんか？みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありま〜す、など何でもかまいません。原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。みなさまからの記事をお待ちしています。

## 編集後記

2週間メキシコに行ってきました。旅の目的は蝶。「蝶を見に？わざわざメキシコまで？」そうなんです。実はこの蝶、カナダからメキシコまで4,000キロ以上の渡りをする蝶で、標高3,000mを超えるメキシコの保護区で越冬するんです。億を数えられる蝶が一斉に飛び光景は、壮観ですよ！（橋本）

第46号

平成 27 年 2 月 1 日 发行  
(偶数月发行 / 年 6 回)

【发行处】

中国·四国中国归国者支援·交流中心

社会福祉法人 广岛县社会福祉协议会

〒732-0816 广岛市南区比治山本町 12-2

TEL 082-250-0210

FAX 082-254-2464

E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

# 七色花

## 岛根县社会观摩会

11月29日(周六)以岛根县归国者为对象举办了社会观摩会。这次和大家一起来到广岛,上午在玻璃之乡学做了玻璃搅拌棒,下午参观了安佐动物园。大家虽然同住一县,但是不在同一地区,所以平时也难得有见面机会,一年一次的聚会,让各位参加者不胜欣喜,乘车移动中大家也是有说有笑。



## 香川县咨询说明会·促进健康交流会



12月13日(周六)以香川县归国者为对象举办了咨询说明会和促进健康交流会。在健康讲座中,大家向老师提出了各种各样的问题,有关于服药方法、还有如何向大夫解释自己的症状等等,让人深感大家的健康意识之高。下午的体育吹箭比赛中,虽然每个人都是初次参加,但是通过老师的指导,大家不仅学会了腹式呼吸,还体会到了其中的乐趣。这项活动本身易学易懂,所以每当箭中靶盘时,都让大家欢喜雀跃。

## 志愿者研修会

12月17日(周三)以广岛市立白岛小学4年级的小学生为对象举办了志愿者研修会。通过1代归国者教孩子们做中国结进行了交流。中午还品尝了和小学生同样的伙食,并借此机会参观了孩子们在校期间的游戏和清扫活动。对归国者而言不仅加深了与孩子们的交流,还有机会亲身体验了日本小学校的一天。



## 广岛县促进健康交流会



12月22日(周一)以广岛县归国者为对象,中心举办了小小运动会。共分3组进行对抗,比赛项目有投沙包、爆气球接力赛等等,大家既玩儿的尽兴,又活动了身体。此外,通过借卡认物以及传话游戏还增加了大家对日语学习的兴趣。这天和平时的学习不同,竞赛活动中每位参加者全力以赴,其间还不断出现各种小插曲,既让工作人员看到了大家与平时不同的一面,也同时逗的人捧腹大笑。

## 冈山县咨询说明会·促进健康交流会

1月16日(周五)以冈山县归国者为对象举办了咨询说明会和促进健康交流会。健康讲座的老师是冈山市的保健师,在介绍了必要的保健知识后,还教会了大家简单轻松的护理预防体操,并且向大家强调了坚持的重要性。会后,大家赞不绝口的说「老师教的体操易学易懂」。下午同样出于促进健康目的进行了吹箭比赛。虽然是初次接触这项活动,无论是支援者还是归国者每个人都愉悦的参与到其中。



## 中四国地区活动汇报

### ①NPO法人虹桥会主办「2015新春交流·发表会」

1月18日(周日)中心参加了由NPO法人虹桥会主办的新春交流·发表会。当天,联合国教科文组织还派来代表,就虹桥会对和纸艺术文化所做出的贡献予以了表彰。通过参加这次发表会,让人深感虹桥会通过长年的努力,组织在不断的成长,会员在不断的增加,活动内容也越来越充实。



### ②NPO法人中国归国者·广岛友好会主办「中国归国者介护预防教室」



1月18日(周日)中心应邀参加了由NPO法人中国归国者·广岛友好会主办的护理预防教室。60多岁的老师本身也是归国者相关人士,在来到日本不久后,通过几年的时间先后取得了介护福祉士和介护支援专门员的资格。老师教会大家坐在椅子上就能做的健身操,内容和日托服务中心的护理预防体操十分接近,轻松愉快的活动身体。最后,老师还希望大家今后能多多参加各种社会活动。

## 投稿

下述投稿来自岛根县的松木明子女士。

追忆

昭和16年,9岁的我和父母以及家人,7口人来到了当时的满洲。在那里迎来了第4年开拓团生活时,日本宣告战败,之后父亲下落不明,母亲和姐妹都病死在沈阳。之后,我被中国人收养。收养我的那家生活十分贫困,每天我都必须去捡煤生火做饭。白天在农园割草打零工,晚上在夜校学习。之后,中国内战结束,中华人民共和国成立,国民的生活也逐渐稳定。我在28岁时开始了正式的工作,30岁时结的婚,之后有了3个孩子。1972年日中恢复了正常邦交,随之我在1980年5月,回到久隔40年的日本故乡探了亲。当我踏上故土那一瞬间,9岁时记忆翻滚而来,令人感怀万千。回到家乡后,知道叔父、叔母都还健在,十分欣慰。家乡的同学们还专门为我举办了欢迎会、同窗会,回想起来真是一起度过了快乐的一年。之后又过了10年,我们全家办理了回日本定居的永住手续,到今年回到日本已经是第24个年头了。我们老夫妻两人参加了地区的老年人俱乐部,每天可以说是其乐融融。孩子们也各个都已经独立,为了生活在不断的努力着。如今对我们老夫妻两人来说健健康康就是最大的幸福。



松木明子女士

## 2月·3月预定

2月1日	促进健康交流会	〔广岛县广岛市〕	2月18日	就职讲座	〔广岛县〕
2月3日	异文化交流会	〔广岛县廿日市市〕	3月2日	学习发表会	〔广岛县〕

### 征集投稿

您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗?在此,向大家征集稿件,内容不限,可以是日常生活琐事,也可以是追忆往昔,或者是介绍专项所长。原稿字数限400字以内,投稿可直接送到中心,邮寄、传真亦可。

期盼大家积极踊跃的投稿!

### 编辑后记

前一阵,去墨西哥旅游了2周。这次的主要观光目的是观赏蝴蝶。也许会有这样的疑问「就为了看蝴蝶,还特意去墨西哥?」。没错,这些蝴蝶千里迢迢从加拿大远渡4000公里来到墨西哥,特意来到海拔3000米以上墨西哥保护区越冬。上亿的蝴蝶一齐飞舞的情景真是十分壮观啊!  
(桥本)